

第三回館山市議會臨時會會議錄

第三回館山市議會臨時會會議錄目次

日時	五
場所	五
出席議員	五
出席議員	六
出席說明員	六
出席事務局職員	六
議事日程	六
臨時議長の紹介及びあいさつ	七
開會	八
出席說明員の報告	八
市長のあいさつ	八
仮議席の指定	九
議長の選挙	九
議長のあいさつ	一
議事日程の配付	二
議席の指定	二
會議錄署名議員の指名	三

会期の決定

副議長の選挙

副議長のあいさつ

千葉県競輪組合議会議員の選挙

館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会議員の選挙

三芳水道企業団議会議員の選挙

館山市・富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の選挙

常任委員会委員の選任について

出席説明員の報告

議案の配付

提案理由の説明

議案の上程（議案第五十四号）

議案の内容説明

委員会付託の省略

採決

議案の上程（議案第五十五号）

議案の内容説明

質疑応答

委員会付託の省略

採決

一三
一五
一六
一七
一八
一九
二〇
二一
二二
二二
二二
二二
二三
二三
二四
二四
二四
二六
二九
三〇

議案の上程（議案第五十六号）	三〇
議案の内容説明	三〇
委員会付託の省略	三一
採決	三一
閉会	三一
本日の会議に付した事件	三一

昭和四十六年五月招集

一、館山市議会本会議場

出席議員 三十名

二	二	二	一	一	一	一														
四	二	〇	八	六	四	二	〇	八	六	四	二									
番	番	番	番	番	番	番	番	番	番	番	番									
西	田	君	安	辻	伊	藤	渡	石	栗	鈴	林									
村	村	塚	西	井	賀	田	辺	井	原	木										
真	源	喜	益	謹	多	益	軍	武	一											
次	郎	三	男	爾	朗	治	郎	敏	雄	稔	豊									

二五番 安沢徳順
二七番 望月照正
二九番 秋山六三郎
一、欠席議員 なし
二、出席説明員

市長 本間 讓
収入役 高木哲三
人事課長 小沢正治
庶務課長 小倉澄男
一、出席事務局職員

事務局長 高梨清一
書記 兵藤恭一
書記 渡辺英弘
書記 福田雄
一、議事日程

昭和四十六年五月十二日午前十時開議

日程第一 議席の指定

日程第二 會議録署名議員の指名

日程第三 会期の決定

日程第四 副議長選挙について

二六番 飯田義男
二八番 田中祿郎
三〇番 遠山ヨネ子

助書課長 島山 伝
秘書課長 太田博雄
企画課長 伊藤幸太郎
商工観光課長 鈴木力

事務局長補佐 高尾 豊
書記 錦織 睦子
書記 川上義雄

日程第五 千葉県競輪組合議会議員の選挙について

日程第六 館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会議員の選挙について

日程第七 三芳水道企業団議会議員の選挙について

日程第八 館山市・富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の選挙について

日程第九 常任委員会委員の選任について

日程第十 議案第五十四号 監査委員の選任について

日程第十一 議案第五十五号 館山市厚生年金保険被保険者休養施設設置条例の一部を改正する条例の制定に
ついて

日程第十二 議案第五十六号 安房郡市広域市町村圏事務組合同規約の一部を改正する規約の制定について

臨時議長の紹介及びあいさつ

○ 事務局長 (高梨清一君) 一般選挙後最初の議会でありますので、議長が選挙されますまでの間、地方自治法第百

七条の規定によりまして、本日の年長議員さんが臨時に議長の職務を行なうことになっております。

そこで、本日の出席議員中秋山六三郎さんが最年長の議員さんでありますので御紹介申し上げます。

(年長議員秋山六三郎君議長席に着く) (拍手)

○ 臨時議長 (秋山六三郎君) ただいま紹介されました秋山六三郎でございます。

地方自治法第百七条の規定により年長なるがゆえに臨時に議長の職務を行ないます。申すまでもなくいたつて議事不
なれでございますが、一生懸命努力いたしますので、どうぞよろしく満場の皆さま方の絶大なる御協力を切に願ひ申
し上げます。

開 会 午前十時十五分 開 議

(八)

○ 臨時議長 (秋山六三郎君) ただいまの出席議員数三十名、これより昭和四十六年度第三回市議会臨時会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

出席説明員の報告

○ 臨時議長 (秋山六三郎君) 本臨時会に地方自治法第二百二十一条の規定により本間市長、畠山助役以上の出席を求めましたので報告いたします。

市長のあいさつ

○ 臨時議長 (秋山六三郎君) この際、市長よりあいさつしたいとの申し出があります。暫時これを許します。
(市長本間 護君登壇) (拍手)

○ 市長 (本間 護君) ただいま御紹介をいただきました館山市長の本間でございます。一言あいさつ申し上げたいと思います。

皆さま方におかれましては、去る四月二十五日執行されました市議員選挙にあたりまして、部落の方々の御推薦によりまして立候補されまして、市民のきびしい審判によりましてめでたく御当選なされましておめでたい次第でございます。皆さま方を心から歓迎を申し上げたいと存ずる次第でございます。

皆さま方におかれましては、立候補当時いろいろそれぞれ公約をなされたわけでございますが、これをこれから実行にうつされる。こういうことでありまして、それはとりもなおさず市民福祉の増進をはじめ館山市の発展のために大きくお骨折りを願うわけでございまして、市民とともに御期待を申し上げる次第でございます。私も微力でございますが

明かるく豊かな文化福祉都市建設のために懸命な努力をいたしてあるわけでございますが、これは議員の皆さま方の御理解と御指導によらなければ達成できないわけでございますして、この点よろしく御指導、御鞭撻をいただきたいと存ずる次第でございます。

本日は、初の臨時市議会をお願いしたわけでございますが、最も急を要する議会構成関係を主体といたしまして、そのほか鳩山荘の料金の改定、その他二件ほどございますが、慎重な御検討を願ひまして御決定をたまわりますようお願い申し上げます。どうもありがとうございました。（拍手）

仮議席の指定

○臨時議長（秋山六三郎君） この際議事の進行上、仮議席を指定いたします。

おはかりいたします。ただいま御着席の議長が選挙されました間、仮議席といたします。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（秋山六三郎君） 御異議なしと認めます。よつて決定いたしました。

議長 の 選挙

○臨時議長（秋山六三郎君） これより議長の選挙を行ないます。

議場の閉鎖を命じます。

（議場閉鎖）

○臨時議長（秋山六三郎君） ただいまの出席議員数は三十人であります。
投票用紙を配付いたします。

(投票用紙配付)

- 臨時議長 (秋山六三郎君) 投票用紙の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。
投票箱を改めさせます。

(投票箱点検)

- 臨時議長 (秋山六三郎君) 異状なしと認めます。

この際、念のため申し上げます。投票は単記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じ、点呼を命じます。

(事務局長氏名点呼、投票)

- 臨時議長 (秋山六三郎君) 投票漏れはありませんか。——投票漏れなしと認めます。
投票を終了いたします。議場の閉鎖を解きます。

(議場閉鎖)

- 臨時議長 (秋山六三郎君) これより開票を行います。

会議規則第三十一条第二項の規定により立会人に島野茂樹郎君及び飯田義男君を指名いたします。よつて両君の立会いを願います。

(立会人登壇、開票)

- 臨時議長 (秋山六三郎君) 選挙の結果を報告いたします。

投票総数三十票、これは先ほどの出席議員数に符^あ合^あつております。

そのうち有効投票三十票、無効投票なし

有効投票中吉田勇治郎君二十四票、安西益男君六票、以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は八票であります。よつて吉田勇治郎君が議長に当選されました。

ただいま議長に当選されました吉田勇治郎君が議場にいられますので、本席より会議規則第三十二条第二項の規定による告知をいたします。

議長のあいさつ

○ 臨時議長 (秋山六三郎君) この際、議長吉田勇治郎君を御紹介いたします。

(議長吉田勇治郎君登壇) (拍手)

○ 議長 (吉田勇治郎君) ただいま御紹介にあずかりました吉田勇治郎でございます。

今回の改選にあたりまして、第一回の議会しかも栄ある議長の席をけがさしていただきましたことを心から感謝申し上げる次第でございます。

願ひますれば、私、浅学非才その器ではないかとかように考えるものでございます。しかしながら、私たちの使命は申すまでもなく議場における審議を通じて住民の要望を十二分に行政に反映させるということが大いなるつとめでございます。かような観点に立ちまして、皆さま方の御協力のもとに和氣あいあいたる 市会の運営につとめたい。かように考えておるものでございます。

どうか、浅学非才そのものではございますが、今後の議事運営にあたりましては特段の御援助をお願いする次第でございます。まずもつて、議会の運営の十二分に皆さま方の意見が市政に反映できるような議会の運営をいたしたい。かようにお誓ひ申し上げまして、議長就任のごあいさつにかえさしていただきます。よろしくお願いいたします。(拍手)

○ 臨時議長 (秋山六三郎君) 以上によりまして臨時議長による議長選挙を無事終らせていただきました。

申すまでもなく、皆さんの絶大なる御協力のたまものでありまして深く感謝申し上げます。おかげをもちまして本市の議長として学識識見ともに優秀なる吉田勇治郎君を選任でき、御就任となりましたので、この際吉田議長さんの御発展を心からお祈りいたし、なお今後ますます市勢伸展のため格段の御活躍を御期待申し上げます。皆さま方の私に寄せられました御支援と御協力を感謝申し上げます。臨時議長の職を終らせていただきます。ありがとうございます。(拍手)

暫時休憩いたします。

午前十時三十五分

休 憩

午前十時三十六分

再 開

○ 議長

(吉田勇治郎君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

議事日程の配付

○ 議長

(吉田勇治郎君)

議事日程を配付いたします。配付漏れはございませんか。——配付漏れなしと認めます。

本日の議事はお手もとに配付の日程表により行ないます。

議席の指定

○ 議長

(吉田勇治郎君)

日程第一、議席の指定を行ないます。

議席は、会議規則第四条第一項の規定により議長において指定いたします。議員諸君の氏名とその議席の番号を職員をして朗読いたさせます。

○ 事務局長

(高梨清一君)

朗読いたします。

一番 吉田勇治郎さん	二番 林 豊さん	三番 流山源次郎さん	四番 鈴木 稔さん
五番 近藤 好雄さん	六番 栗原 一雄さん	七番 渡辺 昭夫さん	八番 石井 武敏さん
九番 辻田 実さん	一〇番 渡辺軍治郎さん	十一番 山本 昇さん	一二番 藤田 益治さん
一三番 五十嵐 昇さん	一四番 伊賀 多朗さん	一五番 和田 一郎さん	一六番 辻井 謹爾さん
一七番 宮野 敏朗さん	一八番 安西 益男さん	一九番 島野茂樹郎さん	二〇番 君塚 喜三さん

二一番 鈴木 市蔵さん 二二番 田村源治郎さん 二三番 菊井 敏博さん 二四番 西村 真次さん
二五番 安沢 徳順さん 二六番 飯田 義男さん 二七番 望月 照正さん 二八番 田中 禄郎さん
二九番 秋山六三郎さん 三〇番 遠山ヨネ子さん
以上でございます。

○ 議長 (吉田勇治郎君) ただいま朗読いたしましたとおり、各議員の議席を指定いたします。

会議録署名議員の指名

○ 議長 (吉田勇治郎君) 日程第二、会議録署名議員の指名を行ないます。

本臨時会の会議録署名議員に二番議員林 豊君、三〇番議員遠山ヨネ子君以上両君を指名いたします。

会期の決定

○ 議長 (吉田勇治郎君) 日程第三、会期の決定を行ないます。

会議規則第五条第一項の議会運営協議会がいまだありませんので、同条ただし書の規定により直ちに議長よりおはかりいたします。

本臨時会の会期を本日一日といたしたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて会期は本日一日と決定いたしました。

副議長の選挙

○ 議長 (吉田勇治郎君) これより副議長の選挙を行ないます。

議場の閉鎖を命じます。

(談場閉鎖)

○議長 (吉田勇治郎君) ただいまの出席議員数は三十人であります。

投票用紙を配付いたさせます。

(投票用紙配付)

○議長 (吉田勇治郎君) 投票用紙の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

(投票箱点検)

○議長 (吉田勇治郎君) 異状なしと認めます。

この際申し上げます。投票は單記無記名であります。投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、点呼に応じて順次投票願います。

(事務局長氏名点呼、投票)

○議長 (吉田勇治郎君) 投票漏れはありませんか。——投票漏れなしと認めます。
投票を終了いたします。議場の閉鎖を解きます。

(議場閉鎖)

○議長 (吉田勇治郎君) これより開票を行います。

会議規則第三十一条第二項の規定により立会人に島野茂樹郎君及び飯田義男君を指名いたします。よつて両君の立会を願います。

(立会人登壇、開票)

○議長 (吉田勇治郎君) 選挙の結果を報告いたします。

投票総数三十票、これは先ほどの出席議員数に符^あ合^あいたしております。

そのうち有効投票三十票、無効投票なし。

有効投票中秋山六三郎君二十四票、島野茂樹郎君六票、以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は八票であります。よつて秋山六三郎君が副議長に当選されました。

ただいま副議長に当選されました秋山六三郎君が議場におられますので、本席より会議規則第三十二条第二項の規定による告知をいたします。

副議長のあいさつ

○ 議長 (吉田勇治郎君) この際副議長秋山六三郎君を御紹介いたします。

(副議長秋山六三郎君登壇) (拍手)

○ 副議長 (秋山六三郎君) ただいま副議長選挙によりまして、皆さまのあたたかい御支援によりまして私が副議長として当選いたしましたことは、私の最も光栄と存するところでございます。

もとより、浅学非才でありましてその重職に耐え得るや否やまことに危懼の念にかられておる次第でございますが、誠心誠意市勢伸展のために、かつまた謗会の円満な運営のために最大の努力を傾倒いたしました今後尽して参りたい。かように存する次第でございます。

どうぞ皆さまのますます御支援をいただきまして、職務の全うできますように御支援願いますことをお願い申し上げます。まして、簡単でございますが、一言ごあいさつにかえる次第でございます。ありがとうございます。(拍手)

○ 議長 (吉田勇治郎君) 暫時休憩いたします。

午前十時五十三分 休憩

午後二時三十七分 再開

○ 議長 (吉田勇治郎君) 午後出席議員数三十名、休憩前に引き続き会議を開きます。

千葉県競輪組合議会議員の選挙

○議長 (吉田勇治郎君) 日程第五、千葉県競輪組合議会の議員の選挙を行います。

組合規約第五条の規定により、本市より選挙される議員の数は二名で、その任期は昭和四十七年十二月三十一日までの補欠選挙であります。

おはかりいたします。選挙の方法は地方自治法第百十八条第二項の規定により指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて選挙の方法は指名推選によることに決しました。重ねておはかりいたします。指名の方法は議長において指名することにしたと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。千葉県競輪組合議会の議員に安沢徳順君、菊井敏博君以上両君を指名いたします。

おはかりいたします。ただいま議長において指名いたしました両議員君を競輪組合議会の議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつてただいまの指名のとおり安沢徳順君、菊井敏博君が千葉県

競輪組合議会の議員に当選されました。

ただいま当選されました安沢徳順君、菊井敏博君が議場におられますので、本席より会議規則第三十二条第二項の規

定による告知をいたします。

館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会議員の選挙

○議長 (吉田勇治郎君) 日程第六、館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会の議員の選挙を行います。

組合規約第五条第二項の規定により本市より選挙される議員は六名であります。

おはかりいたします。選挙の方法は地方自治法第百十八条第二項の規定により指名推選の方法によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて選挙の方法は指名推選によることに決しました。

重ねておはかりいたします。指名の方法は、議長において指名することになつたと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて議長において指名することに決定いたしました。

これより指名いたします。組合議会議員に伊賀多朗君、宮野敏朗君、田中祿郎君、和田一郎君、林 豊君、石井武敏君、以上六議員君を指名いたします。

おはかりいたします。ただいま議長において指名いたしました六議員君を組合議会の議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつてただいま指名のとおり伊賀多朗君、宮野敏朗君、田中祿郎君、和田一郎君、林 豊君、石井武敏君が館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合の議会の議員に当選されました。

ただいま組合議會議員に当選されました伊賀多朗君、宮野敏朗君、田中禄郎君、和田一郎君、林君が議場にいられますので、本席より会議規則第三十二条第二項の規定による告知をいたします。

三 芳水道企業団議會議員の選挙

○議長 (吉田勇治郎君) 日程第七、三芳水道企業団議會議員の選挙を行ないます。

企業団規約第五条の規定により本市より選挙される議員は八名であります。

おはかりいたします。選挙の方法は地方自治法第百十八条第二項の規定により指名推選によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて選挙の方法は指名推選によることに決しました。重ねておはかりいたします。指名の方法は議長において指名いたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて議長において指名することに決しました。

これより指名いたします。企業団議會議員の議員に望月照正君、近藤好雄君、菊井敏博君、和田一郎君、田村源治郎君、鈴木 稔君、渡辺軍治郎君、安西益男君、以上八名企業団議會議員の議員に指名いたします。

おはかりいたします。ただいま議長において指名いたしました八議員君を三芳水道企業団議會議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつてただいま指名のとおり望月照正君、近藤好雄君、菊井敏博君、和田一郎君、田村源治郎君、鈴木 稔君、渡辺軍治郎君、安西益男君が三芳水道企業団議會議員の議員に当選されまし

た。

ただいま当選されました望月照正君、近藤好雄君、菊井敏博君、和田一郎君、田村源治郎君、鈴木 稔君、渡辺軍治郎君、安西益男君が議場におられますので、本席より会議規則第三十二条第二項の規定による告知をいたします。

館山市・富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の選挙

○議長 (吉田勇治郎君) 日程第八、館山市・富浦町及び三芳村学校給食組合議会の議員の選挙を行ないます。

組合規約第五条第二項の規定により本市より選挙される議員は八名であります。

おはかりいたします。選挙の方法は地方自治法第百十八条第二項の規定により指名推選の方法によりたいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて選挙の方法は指名推選によることに決しました。重ねておはかりいたします。指名の方法は議長において指名することにしたと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて議長において指名することに決定いたしました。

これより指名いたします。組合議会議員に栗原一雄君、辻井謹爾君、渡辺昭夫君、五十嵐昇君、遠山ヨネ子君、山本昇君、藤田益治君、辻田 実君以上八議員君を指名いたします。

おはかりいたします。ただいま議長において指名いたしました八議員君を給食組合議会の議員の当選人と定めますことに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつてただいま指名のとおり栗原一雄君、辻井謹爾君、渡辺昭夫君、五十嵐昇君、遠山ヨネ子君、山本 昇君、藤田益治君、辻田 実君が館山市・富浦町及び三芳村学校給食組合議会の議員に当選されました。

ただいま当選されました栗原一雄君、辻井謹爾君、渡辺昭夫君、五十嵐昇君、遠山ヨネ子君、山本 昇君、藤田益治君、辻田 実君が議場におられますので、本席より会議規則第三十二条第二項の規定による告知をいたします。

常任委員会委員の選任について

○ 議長 (吉田勇治郎君) 日程第九、常任委員会委員の選任を行います。

委員選任につきましては、本市委員会条例第四条第一項の規定により議長が議会にはかつて選任することになつております。

おはかりいたします。これより常任委員会委員の選任を行います。

○ 事務局長 (高梨清一君) 朗読いたします。

総務常任委員会委員に、吉田勇治郎さん、辻田 実さん、渡辺軍治郎さん、山本 昇さん、菊井敏博さん、

西村 真次さん、安沢 徳順さん。

経済常任委員会委員に、鈴木 稔さん、近藤 好雄さん、和田 一郎さん、島野茂樹郎さん、望月 照正さん、

田中 禄郎さん、秋山六三郎さん。

文教民生常任委員会委員に、流山源次郎さん、栗原 一雄さん、渡辺 昭夫さん、石井 武敏さん、五十嵐 昇さん

辻井 謹爾さん、飯田 義男さん、遠山ヨネ子さん。

建設常任委員会委員に、林 豊さん、藤田 益治さん、伊賀 多朗さん、官野 敏朗さん、安西 益男さん、

君塚 喜三さん、鈴木 市蔵さん、田村源治郎さん。

○ 議長 (吉田勇治郎君) 以上、それぞれ各常任委員会の委員に指名いたします。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつてただいま指名いたしました以上のとおり、それぞれの常任委員会の委員に選任することに決定いたしました。

この際、委員会条例第五条の規定による各委員会において互選されました正副委員長を報告いたします。

総務常任委員会委員長 山本 昇君 副委員長 辻田 実君

経済常任委員会委員長 望月 照正君 副委員長 島野茂樹郎君

文教民生常任委員会委員長 五十嵐 昇君 副委員長 遠山ヨネ子君

建設常任委員会委員長 田村源治郎君 副委員長 伊賀 多朗君

なお、この際御報告申し上げます。

議会運営協議会委員に、林 豊君、渡辺軍治郎君、辻井 謹爾君、安西益男君、鈴木 市蔵君

西村 真次君、飯田 義男君、田中 禄郎君

以上八議員君が選任され、互選の結果、委員長に西村真次君、副委員長に飯田義男君が決定されましたので御報告いたします。

出席説明員の報告

○ 議長 (吉田勇治郎君) この際、御報告いたします。

本臨時会の議案審査のため地方自治法第二百一条の規定による出席要求に対し、高木収入役、太田課長、小倉課長、鈴木課長、小沢課長、伊藤課長以上の者が出席する旨の報告がありました。

議案の配付

○ 議長 (吉田勇治郎君) 議案を配付いたします。議案の配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。

提案理由の説明

○ 議長 (吉田勇治郎君) 本臨時会に提出された議案趣旨説明を市長から求めたいと思います。

(市長本間 譲君登壇)

○ 市長 (本間 譲君) 本日の付議事件は改選後の監査委員の選任でございますが、十分御審議くださいますして御決定をお願いいたしたいと存じます。

次に、一般議案といたしまして二件ございます。まず、館山市厚生年金保険被保険者休養施設設置条例の一部改正であります。国民宿舍鳩山荘の料金につきましては、人件費、物件費等の高騰により国民宿舍の健全な運営が困難となり、利用者に対する処遇の低下をまねくおそれがあり、今回厚生省からの通達により全国の国民宿舍がそれぞれ利用料金を改定しようとする方針が決定しましたので、当市においてもこれに歩調を合わせて利用料金を改正しようとするものであります。

次に、安房郡市広域市町村圏事務組合の規約の一部改正であります。去る三月三十日づけで鴨川市が誕生した関係で組合規約中の構成市町村及び議会の議員の定数等を改正しようとするものであります。以上、付議事件につきまして簡略な説明をいたしました。詳細につきましては、関係課長より説明させていただきますので慎重な御審議をたまわりまして、御決定くださるようお願いいたします。以上申し上げまして提案理由の説明を終ります。

議案の上程

○ 議長 (吉田勇治郎君) 日程第十、議案第五十四号監査委員の選任についてを議題といたします。

本案は地方自治法第一百七条の規定により鈴木市蔵君の一身上の事件でありますので退席を求めます。

(二一番議員鈴木市蔵君退場)

○ 議長 (吉田勇治郎君) 議案を朗読いたします。

(書記朗読)

議案第五十四号 監査委員の選任について

議案の内容説明

○ 市長 (本間 譲君) 監査委員といたしましたしで御推薦を申し上げたいと存じますが、経験豊かで計数的にも明るい。人格もいい方である鈴木市蔵君を御推薦申し上げますので、満場一致御了承をたまわりますようお願いいたします次第でございます。

○ 議長 (吉田勇治郎君) 御質疑ございませんか。—— 御質疑なしと認めます。

委員会付託の省略

○ 議長 (吉田勇治郎君) おはかりいたします。本案については会議規則第三十七条第二項の規定により委員会の付託を省略いたしましたと思ひます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて委員会付託は省略することに決定いたしました。これより討論を行います。本案に対する討論はございませんか。—— 討論なしと認めます。

採 決

○ 議長 (吉田勇治郎君) これより採決いたします。
本案を原案通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案通り可決されました。

(二一番議員鈴木市蔵君入場)

議 案 の 上 程

○ 議長 (吉田勇治郎君) 日程第十一、議案第五十五号館山市厚生年金保険被保険者休養施設設置条例の一部を改正する条例の制定についてを議題といたします。

(書記朗読)

議案第五十五号 館山市厚生年金保険被保険者休養施設設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案の内容説明

○ 商工観光課長 (鈴木 力君) 議案第五十五号館山市厚生年金保険被保険者休養施設設置条例の一部を改正する条例の制定について御説明申し上げます。

この条例の一部改正につきましては、国民宿舎鳩山荘の使用料についての規定の一部を改正しようとするものです。国民宿舎の使用料は全国統一的に厚生省が定めた国民宿舎利用料金基準によりまして利用者から納付していただくことになっておるわけですが、先ほど市長のほうから御説明がございましたとおり、現行の利用料金につ

きましては、昭和四十四年十月一日に改定されまして現在に至つておるわけでございますが、最近の人件費あるいは物件費の高騰から国民宿舎の健全な運営が資金面におきまして困難な状況になつてきたという観点から、今回料金の改定がなされたわけでございます。

四月一日づけをもちまして、所管の厚生省国立公園部長から県を通じまして改定の通知がなされたわけでございます。したがひまして、この基準額の改定に伴ひまして、当市の休養施設設置条例の一部を改正しようとするものでございます。

条例の内容につきましては、まず第五条の第一項中「四百円」を「五百円」に改めるということでございますが、国民宿舎を利用し、宿泊を予約する場合におきまして利用者から予約金を納付していただく、こういう規定になつておるわけでございます。現行一人当たり四百円を五百円に改めようとするものでございます。

次に、条例第四条の利用料金を定めます別表でございますが、宿泊料、食事料、休憩料をそれぞれ改正しようとするものでございます。宿泊料につきましては、一般におきまして現行「五百七十円」を「七百五十円」、なお中学生におきましては現行「三百七十円」を「五百五十円」に、小学校児童におきましては「二百七十円」を「三百五十円」にそれぞれ改正しようというところでございます。

それから、食事料でございますが、朝食につきましては一般の場合、中学生あるいは小学生とも共通いたしまして、現行「百六十円」を「二百円」に改正しようというものでございます。なお、夕食代につきましては、やはり一般、中学生、小学生とも現行「三百七十円」を「四百五十円」に改めようとするものでございます。

次に、休憩料でございますが、これは食事なしの休憩でございますが、一日または一回につきまして従来「二百円」を「三百円」に改正しようというものでございます。

以上が改正する内容でございますが、一泊二食の宿泊基本料金といたしまして、一般の場合におきましては、従来千百円が基本料金であつたのでございますが、この改正によりまして千四百円ということに三百円アップということにな

るわけでございます。なお、中学生につきましては三百円アップでございまして、現行九百円を千二百円に改正しようとするものでございます。小学生につきましては二百円アップでございまして、八百円から千円に改正しようというものでございます。

以上が利用料の改正でございまして、この条例の改正を五月二十日から実施しようというものでございます。簡単にございますが、以上で終わります。

質 疑 応 答

○ 議長 (吉田勇治郎君) これより質疑を行ないます。

○ 九番 (辻田 実君) ただいま御説明をいただいて内容がよくわかつたのでありますが、市長並びに主管課長の説明によりますと、厚生省の案に対しての通知によつて決定されたということでございますけれども、この料金の改定については県並びに厚生省の通知によつてその都度上るものか。また値上げに伴うところの館山市としての審議機関というんですか、この議会以外にはないのかどうか。

たとえば、国民休養施設の赤字の場合、上げなければならないという場合に何らかの形でこつちの意向で上げることができるか。現在多少赤字が出ておるようでございますけれども、これを補てんする意味でこちらから厚生省のほうに申請したのかどうか。この点をまず第一点としてお伺いしたいわけです。したがしまして、整理しますと、指示に基づいてやつたのかどうかということが第二点。

第二番目にこの値上げについては厚生省並びに県から通知があつた場合には上げなければならないのか、それとも経営の実態において据え置くことができる性質のものか。この性質についてまず二番目にお伺いしたいわけでございます。三番目につきましては、もう少し補充説明してもらいたいわけでございますが、三割方の全体的に値上げになるわけでございますから、これに伴うところのもう少し経営内容の見通し、それらのものについて、または人件費がどの程度

上げてもらえるのか。改善されるのか。諸般の物価の値上りと人件費の高騰によりということの説明でございますが、ここらについてはもう少し説明ができないものかどうか。そのめやすについて資料を御用意なさっておりましたら、この点について説明していただきたい。以上、三点について御質問申し上げます。

○ 商工観光課長（鈴木 力君） お答え申し上げます。

まず、第一点の値上げに対する厚生省の通達でございますが、今回の値上げにつきましては、厚生省の通知に基づいて改定をしたということでございますが、一応国民宿舍の指導、国民宿舍の運営につきましては、厚生省の指導下にあるということがいえるわけでございます。したがしまして、この改定につきましては、その指導に基づいて改定したということでございます。

それから、この改定の通知があつた場合の性質と申しますか、それにつきましては、やはりただいま申し上げましたとおり、一応指導下にあるというようなことから、それに従うということがよろしいんではないかと考えております。それから、三点の経営内容の見通しということでございますが、鳩山荘の運営につきましては、一応四十五年度の収支決算等の見込みを見ました場合、三十万程度の繰り越しということが見込んであるわけでございますが、やはり人件費におきましては、四十五年度あるいは四十六年度におきましても当然アップというものがあるわけでございます。なお、物件費におきましても、物価の高騰というようなことからある程度の値上げというものがやむを得ないというふうに考えておるわけでございます。いずれにいたしましても、今回の改定がなければ資金面におきまして経営が苦しくなるということは、はつきり申し上げるわけでございます。以上でございます。

○ 九番（辻田 実君） 内容についてはわかりました。繰り越し金が三十万円あるということでございますので、今この問題をどう解決するかにつきましては、かなり見解を異にすると思ひますので省略いたしますけれども、そこで、もう一点追加して質問したいことは、休養施設の料金は議会の決議があつて上りますので、多少一月、二月場合によつては半年ぐらいの狂いがあるけれども、全国ある指定地域は同一金額が行なわれておるか。あるいは場合によるとアン

バランスで値上げしないで、黒字が三十万あるからやつておる。他から繰り入れてやつておるから値上げしなくてもやつていけるということで運営しているほかの施設はあるのかどうか。この点について調べておるのかどうか、その点についてお伺いしたいと思います。

○ 商工観光課長（鈴木 力君） お答え申し上げます。

料金改定につきましては、条例改正ということで本議会の御承認を経るわけですが、その他の機関といったしましては、審議機関は別段ございません。

それから、料金の値上げにつきましては地域によつて格差があるのではなからうかということでございますが、この料金につきましては国民宿舎の構造、いわゆる木造と鉄筋コンクリート建てというふうに構造によつて分れておりまして鳩山荘の場合におきましては、木造ということでただいまきめてございます料金によつて改定するわけでございますが、地域によつて違うということはありません。全国統一的に構造によつて標準額が定められておるといふことでございます。

なお、他の国民宿舎におきまして値上げをしないで一般会計から繰り入れ金を投じまして、値上げをおさえるというような例が他にあるかということでございますが、やはり独立採算ということがたてまえてございますので、おそらく他の国民宿舎におきましても一般会計によつて繰り入れをして料金値上げをおさえるということとはしておらないと思つておるわけでございます。以上でございます。

○ 九番（辻田 実君） 一つだけ最後にお伺いします。

大体わかりました。そうすると、ここだけが審議機関になりますから、かなり慎重に審議しないと物価の問題、その他の問題がかかりますから、これらの問題については趣旨からいつて安くやるということが非常にいいことであるわけでございますし、かといつて人件費、その他の問題がございますからそれらについて目安がつかなければくあいがあると思います。今回としてはおおむね了承したいと思いますが、一点だけ、向こうの指示があつても将来のこととして据え

置くということができるかどうかという点についてできる余地があるのかどうか。たとえ、一年延ばすとか、二年延ばすということがあり得る状態かどうかという点について参考までにお聞きしておきたいと思ひます。採決にあたりましての参考にしておきたいと思ひますので、その点についてだけお答え願ひたいと思ひます。

○ 商工錫光課長（鈴木 力君） お答え申し上げます。

一応、厚生省の基準額が改定になりました場合、それによつて必ず各国民宿舍とも改定しなければならないということでございますが、これにつきましては、もちろん経営状況が良好であるということから改定しなくても運営上さしつかえないという場合におきましては、あえて改定をする必要はないとなつておるわけでございます。なお、実施時期につきましては、一応厚生省の通知によりますと、五月一日を期して改正するという通知があつたわけでございますが、当市におきましては、議会の御承認を経るということで五月二十日にお願ひしたわけでございます。県下の国民宿舍の状況等承りますと、五月一日あるいは六月一日、あるいは七月一日とある程度実施時期が異なるというふうに聞いております。以上でございます。

○ 議長（吉田勇治郎君） 他に御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。これをもつて質疑を終わります。

委員会付託の省略

○ 議長（吉田勇治郎君） おはかりいたします。本案については会議規則第三十七条第二項の規定により委員会の付託を省略いたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○ 議長（吉田勇治郎君） 御異議なしと認めます。よつて委員会付託は省略することに決定いたしました。これより討論を行います。本案に対する討論はございませんか。——討論なしと認めます。

採 決

○ 議長 (吉田勇治郎君) これより採決いたします。

本案を原案通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案通り可決されました。

議 案 の 上 程

○ 議長 (吉田勇治郎君) 日程第十二、議案第五十六号安房郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定についてを議題といたします。

(書記朗読)

議案第五十六号 安房郡市広域市町村圏事務組合規約の一部を改正する規約の制定について

議 案 の 内 容 説 明

○ 議長 (吉田勇治郎君) 本案に対する説明を求めます。

○ 企画課長 (伊藤幸太郎君) 議案につきまして御説明申し上げます。

安房郡市広域市町村圏の事務組合の規約の改正でございますが、これは先ほど市長から申し上げましたとおり、今回鴨川市の誕生によりまして、一部組合の構成市町村がかわつたわけでございますので、それに伴います改正でございます。従前は江見町、長狭町、鴨川町ということで記載されておつたわけでございますが、今回鴨川市の誕生によりまして、江見町と長狭町、鴨川町を削ることになつたわけでございます。

それから、第六条でございますけれども、これは組合議会の議員数の定数でございます。従前は二十六人、十三市町村の各市町村ごとに二名の議會議員が選出されておるわけでございますが、今回の第三条の改正によりまして減りましたので、これを二十二名、四名少なくしたいということでございます。

それから、同じく条文の第二項のただし書と申しますのは、この一部事務組合にただいま申し上げました議會議員といたしまして、各市町村の市町村長と議会の議長が組合議員として選出されることになつておるわけでございますが、その中で、組合の管理者並びに副管理者が出ております市町村におきましては、市町村長にかわりまして助役が組合議員として出るんだという規定に相なつておるわけでございますけれども、今回豊川市におきまして二名の助役制度が採用されたわけでございますので、助役の下に「助役が二名以上あるときは、当該市町村長の指定する者」という条文を加えたいというものでございます。

この条例改正は、県知事の認可の日から適用されるわけでございますので、附則におきましてこれらの関係を加えたわけでございます。以上でございます。

○ 議長 (吉田勇治郎君) 御質疑ございませんか。——御質疑なしと認めます。

委員会付託の省略

○ 議長 (吉田勇治郎君) おはかりいたします。本案については会議規則第三十七条第二項の規定により委員会の付託を省略したいと思ひます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて委員会付託は省略することに決定いたしました。これより討論を行ないます。本案に対する討論はございませんか。——討論なしと認めます。

採 決

○ 議長 (吉田勇治郎君) これより採決いたします。

本案を原案通り可決するに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○ 議長 (吉田勇治郎君) 御異議なしと認めます。よつて本案は原案通り可決されました。

閉 会 午後三時二十五分 閉 会

○ 議長 (吉田勇治郎君) 以上により本臨時会に付議されました案件全部を議了いたしました。これにて第三回市議会臨時会を閉会いたします。

○ 本日の会議に付した事件

- 一、議長の選挙
- 一、議席の指定
- 一、会議録署名議員の指名
- 一、会期の決定
- 一、副議長の選挙
- 一、千葉県競輪組合議会議員の選挙
- 一、館山市及び三芳村伝染病隔離病舎組合議会議員の選挙
- 一、三芳水道企業団議会議員の選挙

一、館山市・富浦町及び三芳村学校給食組合議会議員の選挙

一、常任委員会委員の選任について

一、議案第五十四号乃至議案第五十六号

地方自治法第二百二十三条第二項の規定により署名する。

館山市議会臨時議長

秋山 三郎

館山市議会議長

吉田 常治郎

館山市議会議員

村 善之

館山市議会議員

遠山 ヨネ子

